

医療現場から皆様へお願い

この機会にかかりつけ医を

神奈川県立足柄上病院長 牧田 浩行さん



当院では、発熱患者の診察時に防護服等しかるべき感染対策をしています。一人を診察するのに、これまでの3~4倍も時間がかかるため、一日に対応できる件数には限りがあります。これは当院だけではなく、どの病院でも同様です。

今の季節、熱が出ると不安に感じる方も多いと思います。しかし、熱が出たからと言って、皆さんが一気に病院に押し寄せると、病院の機能がパンクし、医療崩壊を起こしかねません。そうならないためにも、まずは、普段お世話になっている医療機関(かかりつけ医)に電話で相談することが大切です。かかりつけ医がない方や受診できる病院が見つからない方は、神奈川県が開設した「神奈川県発熱等診療予約センター」をご利用いただければと思います。(※詳細は下に掲載)

また、かかりつけ医がない方は、この機会にぜひ、かかりつけ医を決めましょう。

牧田 そうです。また、8割は、軽症とも言われます。厚生労働省が11月に発表したコロナによる死亡率は1・4%程ですが、死亡者の大多数が高齢者です。高齢者が多い足柄上地域の皆様は、十分注意してください。

府川 コロナ発生以降、様々な活動が止まってしまいました。人と会う機会の減少から「コロナ鬱」という言葉も耳にします。怖がることなく、コロナと上手に付き合っていく必要があると思います。

牧田 はい、過剰に怖がる必要はありません。中には健康に不安があっても、コロナが怖くて病院を受診しない方がいます。治療の開始時期を誤ると取り返しがつかなくなる可能性もあります。今は、どの医療機関も感染防止に非常に気を付けています。健康に不安のある方は、まず医療機関を受診しましょう。

府川 日本のモデルとなる病院に
府川 当町は、「日本一健康

なまち」をスローガンに町民の健康づくりに取り組んでおり、健康増進や健康寿命の延伸のために、身近な地域で適切な医療を受けられることが大切だと考えています。地域の中核的な病院である貴院の将来展望をお聴かせください。

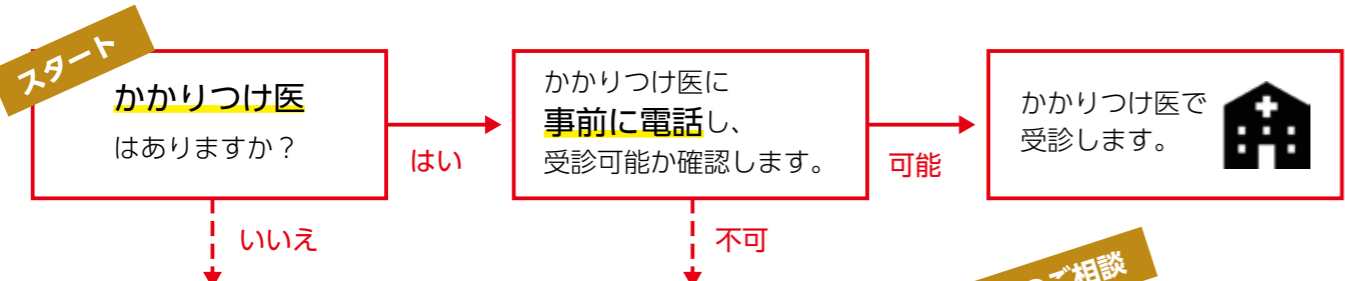
牧田 先日、当院と小田原市立病院が緊密に連携及び協力することを目的とした協定を締結しました。それぞれの強みを活かして、専門性を高め、地域の皆さんに適切な医療を提供していきます。

また、当院の病棟の一つは築58年が経過し、老朽化しています。皆さんに安全・安心に利用していただくためにも、将来、日本のモデルとなる病院にしたいと考えています。

府川 貴院が日本のモデルになることは、私たちにとても誇らしいことです。具体的な教えてください。

牧田 内容は、三つあります。一つ目は、災害発生時でも

発熱・咳・咽頭痛があるときの受診方法



スタート
かかりつけ医
はありますか？

はい

かかりつけ医に
事前に電話し、
受診可能か確認します。

可能

かかりつけ医で
受診します。

いいえ

不可

神奈川県発熱等診療予約センターに連絡します。県が皆さんに代わって、診療可能な医療機関を探して、予約します。
※PCR検査の予約ではありません。

0570-048914

受付時間 ▶ 9:00~21:00
※一部のIP電話等上記番号へつながらない場合はコチラ ▶ 045-285-1015

LINE公式アカウント「新型コロナ対策 パーソナルサポート」でも予約できます。友だち追加はコチラ ▶

受診以外のご相談

新型コロナウイルス
感染症専用ダイヤル

0570-056774

受付時間 ▶ 音声案内① 24時間
その他 9:00~17:00

※一部のIP電話等上記番号へつながらない場合はコチラ ▶ 045-285-0536

音声案内
①感染の不安のある方・COCOA、濃厚接触者に関する事 ②協力金に関する事 ③神奈川県警戒アラートに関する事等 ④経営相談に関する事 ⑤LINEコロナお知らせシステム等

病院の機能を維持すること。二つ目は、新たな感染症が発生しても、他の診療への影響が抑制できること。

三つ目は、今後増加する高齢者が、住み慣れた地域で安心して医療や介護を受けられるよう、行政や施設、病院が一体となってサポートする「地域包括ケアシステム」の中心を担う病院になることです。

府川 当町も全国的な傾向と同様に、高齢化が進んでおり、地域包括ケアシステムの重要性を感じています。貴院にはぜひ、リードしてもらいたいのです。

牧田 救急医療についても、引き続き足柄上地域の皆さんにとって対応していきます。

府川 高度な専門医療のニーズへの対応や、万が一に備えた救急医療体制が身近にあることで、地域の皆様の安全・安心に繋がります。引き続きよろしくお願ひします。

本日はありがとうございます。

